奨学金募集一覧（R８）

※灰色は既に募集期間を終了しています

2026/10/5現在

番号	機関（団体名）	応募資格等	学内採用・推薦人数 ※応募者多数の場合学内選考	金額	期間	種別	他奨学金との 併給	学内 申請期限
1	福岡県教育文化奨学財団 奨学金	(1)保護者が、福岡県内に生活の本拠を有していること (2)申込時に、高等専門学校に在学していること (3)申込者の同一生計全員の収入合計額(年額)が生活保護基準の2.4倍以下であること ※他の団体が実施する奨学金あるいは資金等の併願可（貸与額を超える場合は不可） ※高等学校等就学支援金、高校生等奨学給付金との併給可		自宅 月額18,000円 月額15,000円 月額10,000円 自宅外 月額23,000円 月額20,000円 月額15,000円	令和8年4月から卒業するまでの正規の修学期間	貸与	一部可 ※金額による	2026年5月1日
2	熊本県育英資金	（1）生計の主たる維持者が熊本県内に居住していること。 （2）勉学に意欲があると認められること。 （3）学資の支弁が困難であると認められること。 （4）地方公共団体、公益法人、学校法人等から現に学資の貸与を受けていないこと。 （5）貸与した育英資金の返還が確実であると認められること。		【自宅】 18,000円 13,000円 8,000円 【自宅外】 23,000円 18,000円 13,000円	在学する学校の正規の修業年限の終期まで	貸与	可	2025年5月27日
3	鶴見奨学研究助成財団 奨学金	①本科4年生もしくは専攻科１年生で、実践的・創造的技術者を目指している者 ②向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であるもの	各学年2名まで	本科4年生　　月額２万円 専攻科1年生　月額２万5千円	2年間	給付	可	事前アンケートの回答期限 2026 年 4 月 21 日 申請者本人が直接申請
4	エイブル文化振興財団 奨学金	①2026年3月時点で国内の高等専門学校に在籍し、4月に3年生に進級した学生 ②支給期間中、財団が定めるレポートなどを期日までに提出できる者 ③支給期間中、財団の行事に積極的に参加できる者		年間40万円 (9月に全額振込)	1年間	給付	可	2026年4月20日
5	公益財団法人 吉田学術教育振興会 奨学金	①能力及び人物ともに優秀であり、かつ経済的理由（原則として世帯年収500万円未満）から修学が困難な者 ※事情があれば、世帯年収500万円以上でも申請可 ②福岡県内に居住し、福岡県内の高等学校高等専門学校に在籍している者 ③高専１年生は、原則として、中学３年生の評定平均値が4.0以上の者とする ④高専２年生以上は、本人が所属する学部・科の中位以上の成績の者とする	４年・５年生：４名程度 １～３年生　：５名程度	本科1年～3年　月額2万2千円 本科4年～5年　月額3万円	令和８年４月～令和９年３月まで ※採用されたら１年ごとに継続申請が必要	給付	可	2026年5月1日
6	公益財団法人 鹿島育英会 奨学金	①心身健全、学力優秀でありながら経済的理由により支援が必要と認められる者 ②２０２６ 年４ 月に高等専門学校に在籍している本科２年生から専攻科２年生の日本国籍の者 ③世帯年収が原則．１，０００ 万円以下の者 ④２０２６年４ 月に在籍予定の学校の長又はそれに準ずる者の推薦を受けることができる者	本科２年生・本科４年生・専攻科１年生から５名 本科３年生・本科５年生・専攻科２年生から５名 ※財団の意向により建築系の学生を優先して推薦	年額４２ 万円 ７ 月・１２ 月　口座振込	本科２年生・本科４年生・専攻科１年生…２年間 本科３年生・本科５年生・専攻科２ 年生…１年間	給付	可	2026年4月22日

※灰色は既に募集期間を終了しています

2026/10/5現在

番号	機関（団体名）	応募資格等	学内採用・推薦人数 ※応募者多数の場合学内選考	金額	期間	種別	他奨学金との 併給	学内 申請期限
7	大成学術財団奨学金	建築、土木、都市開発等、建設に関係する学問を専攻する本科第３学年の学生のうち、前年度までの成績が、GPA3.00以上の者	2名	月額３万円	令和８年４月から最長令和１１年３月まで	給付	可	2026年5月1日
8	公益財団法人 日本高専・大学支援財団	(1) 出願する年の 4 月 1 日現在、大学又は高等専門学校に在学し、理学、工学系の分野を専攻する学生で、原則として年齢が 35 歳以下であること (2) 出願する年の 4 月 1 日現在、高等専門学校専攻科１・２年に在学していること (3) 日本国籍を有すること (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康であること	若干名	月額2万５千円	令和8年4月から最短修業年限の終期まで	給付	可	2026年5月15日
9	一般財団法人 日本国土開発未来研究財団 奨学金	①2026年4月1日現在、本科生16歳以下、専攻科生20歳以下であること ②人物、学業ともに優秀で、経済的な理由により就学が困難であると認められる者		本科1年～3年　月額2万2千円 専攻科　月額3万円	令和8年4月から最短修業年限の終期まで	給付	貸与奨学金及び公的機関の給付奨学金は可 民間団体の給付奨学金は不可	2026年5月1日
10	公益財団法人 藍教育振興会	（1）令和8年に入学した能力及び人物ともに優秀な学生・生徒で奨学援助を希望する者 （2）日本学生支援機構（旧日本育英会）を除く、その他の団体から学資の援助を受けていない者、又は受ける予定でない者	1名	月額2万円	令和8年4月より正規の最短修業年限終了時	給付	日本学生支援機構のみ学費減免や奨学金受給の併用可	2026年4月27日
11	JEES・ジョンソンコントロールズ 高専生奨学金	(1) 令和8年4 月に、本協会が指定する日本国内の高等専門学校（以下「高専」という。）の4年次に正規生として在籍する者。 (2) 日本国籍を有する者、日本への永住を許可されている者、又は私費外国人留学生。（日本に在留する間の在留資格は『留学』とする。） (3) 本奨学金の支給期間中、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等 の受給額合計が600,000 円（月額50,000 円相当）以下である者。［貸与型(返済が必要なもの)奨学金、 学費免除、国の高等教育修学支援新制度は除く。］ (4) 学業成績優秀で、経済的援助を必要とする者。 (5) 令和8年4 月に在籍する高専の長の推薦を受けることができる者。	1名	月額奨学金 50,000円	令和8年4月より令和9年3月まで	給付	一部可 (3) 参照	2026年5月8日
12	一般財団法人 関育英奨学会	（1）本科2～5年生 （2）人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、 学資の支弁が困難と認められる者で、在学する学校の推薦した者。	1～2名	月額2万円	2026年4月より正規最短修業期間	貸与	併用可	2026年5月22日
13	関電工奨学金	（1）令和８年４月１日時点本科第３学年又は第４学年 （2）電気系、電子系、建設系、建築系、機械系 （3）令和７年１月から令和７年１２月までの世帯の総収入が 年額７３０万円以下 （4）１年次から申請時点まで継続して、学校が公認する 同一の「部・同好会・課外活動等」を行っている者	1名	月額2万円	令和８年４月～令和９年３月（遡って採用を認定します）	給付	併用可	2026年6月5日

※灰色は既に募集期間を終了しています

2026/10/5現在

番号	機関（団体名）	応募資格等	学内採用・推薦人数 ※応募者多数の場合学内選考	金額	期間	種別	他奨学金との併給	学内 申請期限
14	一般財団法人 経済調査会奨学金	①本科第２学年から第４学年に在学している学生であって、 次の各号の基準をすべて満たす者 （ア）建設・建築系・土木系※の学科又はコースに所属する者。 （イ）申請の前年度に高等学校等就学支援金を受給していた者。 （ウ）申請の前年度の学業成績が所属学科（複合系学科の場合は所属コース）内の上位３分の１以内である者。 （エ）土木・建築・環境・都市工学などを学び、習得した技術や知識を生かし社会資本整備を通じて社会に貢献する意思のある者。 ②専攻科１年生に在籍する学生であって、次の各号の基準をすべて満たす者 （ア）専攻科における研究内容が建設・建築系・土木系※である者。 （イ）申請の前年度に高等教育の修学支援新制度の授業料等減免を受けていた者。 （ウ）申請の前年度の学業成績が所属学科（複合系学科の場合は所属コース）内の上位３分の１以内である者。 （エ）土木・建築・環境・都市工学などを学び、習得した技術や知識を生かし社会資本整備を通じて社会に貢献する意思のある者。	本科：各キャンパス１名 専攻科：各キャンパス１名	月額２万円	令和８年４月～令和１０年３月（遡って採用を認定します）	給付	原則として，他の奨学金等との併給は妨げない。	2026年6月5日
15	公益財団法人 天野工業技術研究所奨学金	本科第５学年に在学している学生で、人物、学業ともに優れ、 かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者 一　本科第４学年の学年末の学業成績が所属学科内の上位４分の１以内である者 二　直近３年間において懲戒処分を受けていない者 三　奨学金給付の前年度の後期授業料免除において、授業料の全額免除を受けた者又は大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に定める授業料減免において第Ⅰ区分から第Ⅳ区分まで（多子世帯であるか否かを問わない。）に該当するものとして認定を受けた者	３名まで	年額４８万円とし， 原則として６月及び１０月に ２４万円ずつ給付	毎年４月から翌年３月までの１年間	給付	原則として，他の奨学金等との併給は妨げない。	2026年5月8日
16	原田記念財団	九州各県に所在する高等専門学校の機械工学系の専攻及び学科に所属する専攻科第１学年生及び本科第４学年生で、※佐賀県に関係のある者又はその子弟で次の各項の何れにも該当する者。 （イ）ポンプ産業に関係の深い水力学、流体力学、流体機械等自然科学の分野を専攻している専攻科生及びこれらに興味を有する本科生で、将来社会の中枢人物になりうる素質のある者。 （ロ）学業、人物ともに優秀で学費の支弁が困難と認められる者。	専攻科生　１～２名程度 本科生　１～２名程度	専攻科生　月額　3万7千円 本科生　月額　2万7千円	10月から給付し、正規の修業年限まで（18か月）	給付	可	2026年7月17日

※灰色は既に募集期間を終了しています

2026/10/5現在

番号	機関（団体名）	応募資格等	学内採用・推薦人数 ※応募者多数の場合学内選考	金額	期間	種別	他奨学金との 併給	学内 申請期限
17	一般財団法人オカノ電機財団 工学系分野に修学する学生への 奨学金事業	① 日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者 ② 日本国内の高等専門学校、大学（短期大学は除く。）及び大学院に在籍していること ③ 将来、社会的に有益な活動を目指す者 ④ 下記のいずれかの分野に関連する科目を履修できる学科に在籍していること ＜関連分野＞ 機械工学系、電気電子工学系、情報工学（画像処理・制御）系 ⑤ 給付期間すべてに、修学している学校に在籍していること（休学は対象外） ⑥ 志願者が応募年４月１日の時点で１８歳未満の未成年の場合、保護者（※血縁の有無を問わない）の合意が得られていること ※血縁関係のない保護者：里親（児童福祉法に基づく）、法定後見人（未成年後見人等）、児童養護施設等の職員等 ⑦ 次のいずれかの学業成績を対象として、その成績が以下のア～エの通り優秀であること ア． 標準化GPA（平均成績）が2.4以上 ・大学・大学院の在校生（2年生以上）の場合は、当該学校の入学時から直近までのGPAを基に算出 ・大学院の新入生（1年生）の場合は、大学在籍時におけるGPAを基に算出 ・高等専門学校の在校生（2年生以上）の場合は、当該学校の入学時から直近までのGPAを基に算出 イ．評定平均が3.5以上 ・大学の新入生（１年生）の場合は、高等学校３年時における評定平均 ウ．代替指標が3.０以上 ・高等専門学校の新入生（１年生）の場合は、中学校３年時の成績に基づく５教科（国語・数学・英語・理科・社会）の評定より算出した代替指標 エ．高等学校卒業程度認定試験の合格者であること		年額３６万円 月額３万円の６ヶ月分（１８万円）を年２回、本人または、保護者名義の銀行口座に送金	令和８年４月１日～ 令和９年３月３１日	給付	可	2026年8月1日
18	山田進太郎D&I財団 STEM（理系）女子奨学助成金	応募時点で日本国内の高等学校または高等専門学校に在籍し、以下の1～3の条件に当てはまる方 1．以下のいずれかの方 1-1．2026年4月時点で高等学校の1,2年生の方で、STEM(理系)分野への大学進学等を考えている方 1-2．2026年4月時点で高等専門学校の1,2年生の方で、2027年度も高等専門学校に在籍予定の方 2．女性（性自認もしくは戸籍上の性別が女性）の方 3．過去に、本財団の奨学金または奨学助成金を受け取ったことのない方		10万円	給付１回のみ	給付	可	2026年9月30日 ※学校を通さずに、直接申請してください。

※灰色は既に募集期間を終了しています

2026/10/5現在

番号	機関（団体名）	応募資格等	学内採用・推薦人数 ※応募者多数の場合学内選考	金額	期間	種別	他奨学金との併給	学内 申請期限
19	ビヨンドトゥモロー ジャパン未来スカラーシップ・プログラム 2027年度奨学生募集	①2027 年 3 月までに高校を卒業、または高等学校卒業程度認定試験に合格する予定であること。 ②2027 年 4 月より新たに大学・短大・各種専修学校に進学予定であること。 ※学校教育法に基づいて設置された大学・短大・専修学校が対象となります ※進学先が通信教育課程の場合は対象外となります。 ※5 年制の高専在籍者は、2027 年 4 月に 4 年生に進級する場合を対象とします。（現時点で本科３年生） ③下記の一つ以上に該当すること。 ａ 親が死亡している。 ｂ ひとり親家庭である（母子家庭、父子家庭など）。 ｃ 児童養護施設をはじめとした社会的養護を必要とする施設に暮らしている。 ｄ 里親家庭に暮らしている。 ｅ 生活保護受給世帯に暮らしている。 ④年間を通じて開催されるプログラムに参加する意志があり、プログラム参加に際し健康上の支障がないこと。 ⑤2027 年 3 月に開催するオリエンテーション・プログラムへの参加を確約できること。 ⑥オンラインプログラムに参加するための安定したインターネット環境を自身の責任で準備できること。		年間５０万円 ※人材育成プログラムへの参加が不十分の場合は支給停止となる	2027年度間	給付	可	2026年7月20日 ～2026年10月15日 ※※学校を通さずに、直接申請してください。
20	吉田海運奨学財団	2026年4月に4年生に進級した者で、奨学生として相応しい人物であること。		年額24万円（月額2万円円を3か月分ごとに給付）	入学から卒業までの最短就業年限とし最大4年間とする。 （高専は４年生から卒業まで）	給付	可	2026年10月19日
21	フソウ育英会 （2027年度奨学生募集）	①日本国内の大学、短期大学又は高等専門学校（以下、総称して「大学等」という。）に進学又は進級（以下、単に「進学」という。）予定で、 ②向学心を持ち、将来社会への貢献と活躍が期待でき、 ③修学に必要な費用の不足が認められる者で、2027年４月進学時点で20歳以下であること。 （対象者） ・高等専門学校３年次から高等専門学校４年次への進学（現３年生） ・高等専門学校卒業後の高等専門学校専攻科への進学（現５年生） ・高等専門学校卒業後の四年制大学２年次又は３年次への編入学（現５年生）		月額５万円	進学月から卒業月までの正規の修学期間 （詳細は募集要項参照）	給付	日本学生支援機構（JASSO）、自治体、公的団体などからの奨学金（給付型及び貸与型）、また進学した大学の授業料免除等の学内奨学金との併用は可 他の民間企業、団体が交付する奨学金（給付型及び貸与型）との併用は不可	2026年10月19日
22	日本高専・大学支援財団	(1)出願する年の4月1日現在、高等専門学校に在学し、理学、工学系の分野を専攻する学生で、原則として年齢が35歳以下であること (2)出願する年の4月1日現在、高等専門学校本科4・5年生に在学していること (3)日本国籍を有すること (4)学業、人物ともに優秀であり、健康であること		月額2万5千円	採用された年度の10月から正規の就学期間	給付	可	2026年11月6日